



私たち草津電機株式会社は、1948年の創業以来、モータ作りを通して人々の暮らしと幅広い産業を支え続けております。

当社では、モータの設計から生産、販売までを一貫して行っており、お客様のご要望に合わせた独自の製品設計やカスタマイズを行うことで、多くの産業界やユーザー様から高い評価と信頼を頂いております。

その結果、主に家電製品で使用されてきた当社の製品は、現在では医療関係やインフラ関係、エネルギー関係など様々な分野で使用されております。

また、積極的に海外に向けて事業を展開しており、グループ子会社を設立して海外でも生産を行うとともに、生産プラントの輸出や技術の輸出を行ったことで、海外からも高い評価を頂いております。

これからもモータだけでなく、長年のモータ作りで培った技術力のご提案など、付加価値の高いものを送り出し、社会全体のお役に立てる企業を目指して活動して参ります。



代表取締役社長 高田 豊郎

私たちは持続可能な生産消費形態を実現するための高品質な製品を開発し社会に提供すると共に、限りある資源や環境に優しい企業活動を実現します。また、各種団体、地方自治体、行政等とのパートナーシップの下、地域社会貢献、社会的課題解決、経済成長を目指し、SDGsの達成に貢献します。



「SDGs」「BCP」「生産性向上」を柱とする「ESG経営」を推進

当社は、1998年にISO9000、2000年にISO14001を取得。以降、継続的な改善を行いながら、品質や環境への取り組みを強化してきました。SDGsについてもいち早く着目し、2020年には当社グループとしてSDGs宣言を発表。2022年には、SDGsの取り組みを総合的かつ発展的に進めるべく、新たな経営理念「ESG経営」を掲げました。ESG経営は、「SDGs活動の取り組み」「BCP（事業継続計画）への取り組み」、ものづくり企業としての「生産性向上への取り組み」という3つのテーマを柱としています。私たちがこれまで取り組んできたこと、今取り組んでいること、今後取り組もうとしていることを一元化することで、グループ社員全員への理解を深め、ESG経営を来るべき100周年の道しるべとして、事業活動を推進してまいります。

「ESG経営」の理念をポスターにして社内外に発信



従業員一人ひとりに働きかけ、意識の醸成を図る

2020年度から、当社の年間計画書にSDGsの項目を新たに追加しました。各部署の担当者は、SDGsの17の課題とひもづけながら、業務計画を立てています。SDGsの理念を業務計画に落とし込み、常に確認していくことで、SDGsへの理解がより深まり推進につながっています。併せて、「ESG経営推進課」を新設し、啓発ポスターの作成や社内での掲示などを実施。従業員一人ひとりの行動がSDGsやESG経営につながることを可視化し、参画への意識醸成を図っています。

啓発ポスターを社内各所に掲示



「しがCO₂ ネットゼロ」との連携

滋賀県では、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指すため、多様な主体と連携して取り組む「しがCO₂ ネットゼロ」ムーブメントを推進しています。私たちがその趣旨に賛同し、CO₂排出量を2030年度までに、2013年度比で51.7%削減する目標を設定しました。2021年3月には、滋賀銀行が新たに取り扱う「『しがぎん』サステナビリティ・リンク・ローン」の契約を締結。この商品は、目標達成と融資条件が連動する仕組みで、地方公共団体と連携したローンは国内初であり、当社が締結第一号となりました。



国内初の「サステナビリティ・リンク・ローン」を締結



多様な学びとスキルアップを支援

当社では教育においても、各部署ごとに年間計画を立て、実践していく仕組みを確立しています。近年はデジタル技術の進展を背景に、オンラインでのセミナーや研修などを取り入れて教育の機会を拡充。社外での講演会や研修会、階層別の教育といった多様なプログラムへの積極的な参加を促し、自らの知見と共に社外ネットワークを広げるよう支援しています。これらの必要経費は会社が負担しており、従業員のさらなるスキルアップを図るためにも教育への投資を強化してまいります。



従業員が働きやすく健康的な環境を

女性や若い世代の従業員比率が上昇しているため、産休や育休などの就業規定を整備。育児のための短時間勤務については、法律では3歳の誕生日までとなっていますが、当社では小学3年生の年度末まで延長する検討を行っています。2022年には本社社屋の建て替えを契機に、ロッカーや食堂、トイレなどをリニューアル。作業服も従業員にヒアリングし、その意見を反映したデザインに一新しました。同時に、作業現場も窓を二重サッシにして断熱性を高めたり、床をフラットに改修したりするなどして、働きやすい職場環境に改善しています。また、当社では2022年に健康経営宣言を行い、最初の一步としてストレスチェックの100%実施を目標に設定。従業員の健康に寄与していきたいと考えています。



ものづくりを通して、持続可能な社会の実現に貢献

当社ではこれまでCO₂ネットゼロ向け、再生エネルギーの導入、生産拠点におけるエネルギーの効率化（LED化など）に尽力してまいりました。モータにおいても、高効率・省エネルギー型モータの開発や、油圧や空圧プレスからサーボプレスを使用することにより電動化への転換を進め、エネルギーの効率化に取り組んでいます。私たちはSDGsという課題をイノベーションにつなげ、今後もものづくりを通して「持続可能」な社会への貢献を目指してまいります。